

AMBASSADOR

渋谷ファッションウィーク アンバサダー

シシド・カフカさんが語る

“MADE IN SHIBUYA”



私にとって「ファッション」は、自分を表現するツールの一つであり、感情や気分を変えることのできるもの。昔から音楽とファッションは密接な関係にあり、共に歴史を刻んできました。私のように音楽を奏する者にとってステージに上がる時の衣装は、その日の自分の感情や気分をコントロールするほどパワーを持つ大切なアイテムです。

そんな私に欠かせない“ファッション”と“音楽”がひしめき合うのが「渋谷」という街。学生時代から頻繁に通っており、多くのライブハウスや音楽スタジオがあるので、懐かしさを味わえる場所でもあり、思い出も沢山あります。

数ある思い出の中でも一番印象に残っているのが、デビュー前のうらう年の日に開催したコンベンションライブ(業界の方をお招きするライブ)です。その日は季節外れの大雪で、雪が何センチも積もる静かな渋谷の街を、自分自身にも雪を積もらせながらドラムの機材を引きずって会場まで歩いたことは、今でも忘れられない思い出です。この日が「シシド・カフカ」としての人生が始まったきっかけでもあり、「渋谷」は私を語る上でなくてはならない深い関わりを持った街でもあります。

しかし、そんな懐かしさを感じさせる反面、移り変わりが激しく、沢山の人が様々な気持ちを抱えながら行き交う緊張感のある街だとも感じてきました。色々な顔があり、幅広い層が楽しめるという他の街には無い魅力を秘めた街ではないでしょうか。

ファッションにおいては、今も昔も黒い洋服には目がなく、シンプルなアイテムを好んで着ています。昔から私らしいスタイルと言えば「黒い服」なのですが、学生時代に一年だけルーズソックスを履き、短いスカートで「渋谷カルチャー」に触れた時期がありました。

今回渋谷ファッションウィークのアンバサダーという大役に任命していただき、渋谷のファッションアイコンという言葉を受くのは何とも恐れ多くもあります。しかし、沢山の人が思い思いの服を着て、色々な事が華開き進化して行く街「渋谷」で、ファッションが好きで、ファッションを楽しんできたという点においては、皆さんと心を共有出来るのではないかと考えています。

SHIBUYA RUNWAYでは、シシド・カフカ“らしさ”を表現した服装で参加したいと考えているので、皆さん楽しみにしてください！

シシド・カフカ

ミュージシャン。メキシコ出身。ドラムヴォーカルのスタイルで2012年「愛する覚悟」でCDデビュー。2013年9月ファーストアルバム「カフカナイズ」発売。フジテレビ「新堂本兄弟」ドラマ「ファーストクラス」への出演や、「PRETZ」「SONY WALKMAN®」「Levis®」などのTVCMでも話題に。2015年セッション・ミニアルバム「K5(Kの乗乗)」リリース。Zepp TOKYOワンマンライブ開催。2016年セカンドアルバム「トリドリ」リリース。2017年2月ミニアルバム「DO_S」リリース。ミュージシャンとして各FESなどへの出演の他、女優、モデルなど多方面で活躍中。ドラマ「ファーストクラス」、「視覚探偵 日暮旅人」、「カナサ〜ん!」。映画「Zアイランド」、「TOO YOUNG TO DIE! 若くして死ぬ」に出演。フジテレビNEXT「TOKYO SESSION -ROCKIN' GAMBLER-」、bayfm「土曜の夜にはカラスが鳴く」にレギュラー出演中。NHK連続テレビ小説「ひよっこ」に久坂早苗役で出演。最新作は10月4日「羽田ブルース」を配信リリース。

シシド・カフカ オフィシャルサイト <http://shishido-kafka.com>